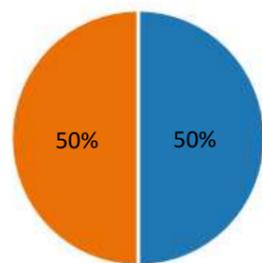


学年担任制 教職員アンケート（令和6年7月実施 回答数:22）

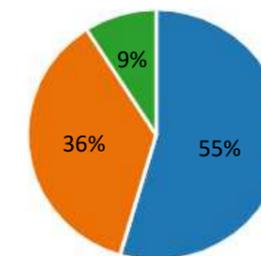
子供たちが、いろいろな先生と関わりやすくなったと思いますか。

● 大変そう思う	11
● ややそう思う	11
● これまでと変わらない	0
● あまりそう思わない	0
● 全くそう思わない	0



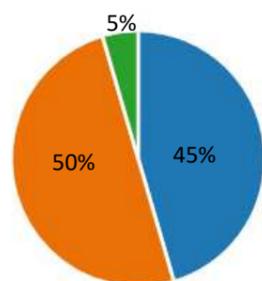
教員の資質向上につながると思いますか

● 大変そう思う	12
● ややそう思う	8
● これまでと変わらない	2
● あまりそう思わない	0
● 全くそう思わない	0



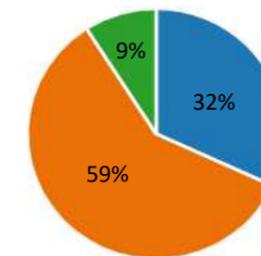
分かりやすい授業ができるようになったと思いますか。

● 大変そう思う	10
● ややそう思う	11
● これまでと変わらない	1
● あまりそう思わない	0
● 全くそう思わない	0



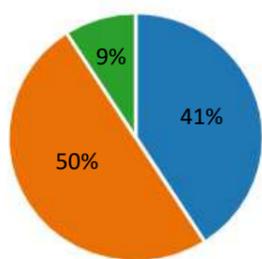
教員の業務改善が図られると思いますか。

● 大変そう思う	7
● ややそう思う	13
● これまでと変わらない	2
● あまりそう思わない	0
● 全くそう思わない	0



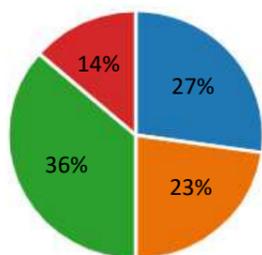
この取組は、子供たちが成長できる取組だと思いますか。

● 大変そう思う	9
● ややそう思う	11
● これまでと変わらない	2
● あまりそう思わない	0
● 全くそう思わない	0



保護者とつながりをもてると思いますか。

● 大変そう思う	6
● ややそう思う	5
● これまでと変わらない	8
● あまりそう思わない	3
● 全くそう思わない	0



学年担任制のよい点は何だと思えますか。(自由記述)

- ・児童や保護者が、話す内容やタイミングによって、教員を選ぶことができるという点がよい点だと思えます。また、教員の視点で考えると、学年担任制をすることで、学年団の教員同士のつながりが深くなるということが、学級経営や生徒指導の方法を身近で学ぶことができるため、よいと思えました。
- ・3人が手分けして取り組むことができるので、いろいろな意見が、出せるので、いろいろ取り組むことができ、学年が盛りだくさんに取り組むことができ、大変良いと思えます。
- ・たくさん先生の先生たちで子供を見ることができるため、偏った見方にならない。学級担任でないため、複数の先生同士で相談して物事を決めることができ、お互いにカバーできる。また、どの学級もいろいろなことが統一されるため、格差が生まれにくい（不公平感がない）。担任+1になることにより業務改善につながる。教師も子供もいつも新鮮な気分で行うことができる。子供たちや保護者も状況に応じて相談できる先生を決めることができる。
- ・隣のクラスと比べられることがなくなるため、一人の先生に学級経営の負担がかからない。いきなり学級担任を持たされるより、学年で統一して動いていくため、経験の浅い教員にとっては安心感や、教員同士の相談しやすい人間関係が築けると思う。
- ・様々な視点で子供を見ることができる。
- ・高学年になると、女の先生、男の先生など、相性があると思うので、児童が相談しやすい環境になる。保護者からの話など、担任一人で抱え込まなくてもよい。教科を分担できるので、教材研究に打ち込みやすい。
- ・子供が相談しやすい大人を見つけることができるところだと思います。
- ・体調の悪い子を空いている先生が連れてきてくださったり、様子を見に来てくれて場合によっては家庭連絡をいれてくださったのが助かりました。
- ・学校全体で子供たちを知り、関わりをもつことができる。
- ・様々な児童とのかかわりを持てること。学年団が同じ思いで働けること。
- ・授業の質の向上、子供の相談する教師の選択。
- ・教材研究をする時間が増える。
- ・先輩教師の児童とのかかわりや授業の取り組みを学びやすい。
- ・学年の児童をいろいろな先生がサポートできる点が良いと思う。
- ・クラス間の差がなくなる。一人の児童を複数で見れる。児童が相談する先生を選べる。学年をみんなで見れる。他の先生の指導を学べる。多くの先生と関われる。クラスが閉鎖的にならない。
- ・たくさん児童とかかわることができ、学年の児童把握・児童理解が進む。学級を一人で抱え込むことがなく、プレッシャーが少ない。学級間の規律やルールが比較的統一されて、大きく学級が崩れることはない。
- ・複数の教員で複数のクラスを担当するので、独りよがりになりにくく、一般化された取組をすることができる。保護者対応も、児童対応も、チームのできるので、安心感がある。

学年担任制の課題点は、何だと思えますか。(自由記述)

- ・課題とまではいきませんが、見ていて難しそうだなと思う点は、指導をするラインなどを統一しなければならないという点です。教員によって差があると、児童が混乱すると思うのに加えて、だれか一人の教員だけが悪者になってはいけないと思うからです。そのために、情報共有を綿密に行うことは必要不可欠であると感じます。
- ・3人いるので、子供たちは言ったつもりでも、伝わっていない時がある。いつも連絡を密にするように先生が気をつけることが大事です。
- ・情報共有を密にするのに時間が必要。また、それができていないと、保護者への不信感につながる。学年はじめは、子供によっては、先生になれるのに時間がかかり、誰に相談してよいかわからず、困ることがある。（保護者も同様）。
- ・①担任が1週間で代わることにより、特別な支援を要する児童に継続して関わるのが難しかったり、指導した児童に対してその日のうちにフォローできないままということもある。②+1の先生が専科の先生だと、専科の先生にも負担が大きい。専科教員以外でも実現できるとよりよい取組になると思う。
- ・情報共有（遅刻、早退、連絡ミス等）
- ・低学年で可能な？と感じること。
- ・役割分担？どのように教科を分担するか、比重が偏らないようにするなど。
- ・情報伝達を頻繁に行うことについて細々としたことの責任の所在。
- ・保護者の混乱
- ・教員同士の連携をしっかりとしないと大きな問題になる可能性がある。教員同士の関わりを深くせざるを得ない。（相性が悪ければつらい）
- ・学年団で歩幅や向かう方向が合わないとみんながしんどくなる。
- ・細かな児童の様子が共有するのが難しそう。児童の変化をより早くつかむという点では、少し遅れそう。
- ・欠席、遅刻児童の把握。保護者連絡。細々したルールの統一。クラス数が多い学校での取り組み。
- ・生徒指導の聞き取りや保護者連絡が週をまたぐと複雑になる。4月のスタートで共通理解をはかってから動き始めるので、割とペースがつかみにくい。
- ・情報共有の漏れが保護者への不信感に直結する。

学年担任制について思うことを書いてください。(自由記述)

- ・傍から見させていたただいているだけのため、2〜7番については、「わからない」が正直なところ。特に「3、分かりやすい授業ができるようになったと思えますか。」については、学年担任制をしているからというよりも、教科担任制をしているからの部分が大きいのかなと見ていて思いました。また、実情を教えてくださいたいです。よろしく願いいたします。
- ・新しい試みで皆さん興味があるので、是非とも続けてほしいと思います。
- ・学級数+1の教師が確保できるのであれば、メリットが多い制度だと思う。
- ・学年担任制が可能なのは、3クラスが限度であると感じる。今年度から学年担任制を導入している他校の取組や成果、課題についても知りた
- い。
- ・クラス数+1の人員確保と学年担任制に関しての職員の理解が大切だと思う。
- ・情報の共有が大事だと思う、その時間の確保も必要かと思った。
- ・学年担任制の実施により、教員数が増えればいいと思う。
- ・児童の情報について、今どの先生に伝えればよいかかわりにくい。
- ・メリット・デメリット両方あるので、デメリットへの対策を学校として練り、アップデートしていくことが大切だと思う。高学年での学年担任制を進めていくなら、低学年・中学年から教科担任制はすすめていく。
- ・摩耶はそんなことはありませんが、「自分の教室さえよければ」の思考は学校内のバランス的にやはり大変なことになるので、学年担任制の取組、そして、みんなでみんなを見るという教育観は大切なことだと思う。